

地方独立行政法人 北松中央病院

第5期中期目標の期間の終了時の検討資料【総括版】
(地方独立行政法人 北松中央病院中期ビジョン)

令和元年10月



佐世保市 保健福祉部
医療政策課

目次

はじめに	P. 1
1 佐世保県北医療圏の現状	P. 2～6
2 北松中央病院の現状	P. 7～11
3 北松中央病院が担う一般診療	P. 12
4 北松中央病院が担う救急医療	P. 13～15
5 5疾病5事業及び在宅医療の状況	P. 16～20
6 佐世保市の地方独立行政法人病院の概況	P. 21～22
7 北松中央病院の地方独立行政法人病院としての役割	P. 23～24
8 北松中央病院の診療の方向性	P. 25
9 北松中央病院の今後の医療提供体制	P. 26～28
10 地域医療構想の実現に向けた取り組みについて	P. 29

はじめに

地方独立行政法人北松中央病院(以下「北松中央病院」という。)は、平成22年3月31日、佐世保市と北松浦郡江迎町の合併に伴い、設置者を旧江迎町から佐世保市へ承継されて今年で9年目となる。

令和元年度は第5期中期目標期間の最終年度となることから期間中の活動内容等を踏まえ、ここに次期中期目標期間に向けた検討を行うものである。

そこで佐世保市は、地方独立行政法人病院の設置者として、2つの法人の役割について確認し、特に第6期中期目標策定時期にある北松中央病院の果たす役割について、改めてビジョンとして示すこととした。

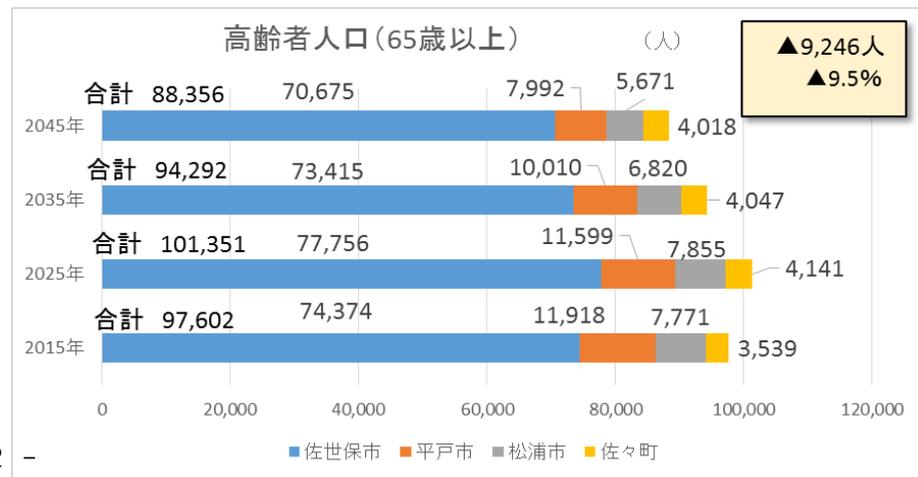
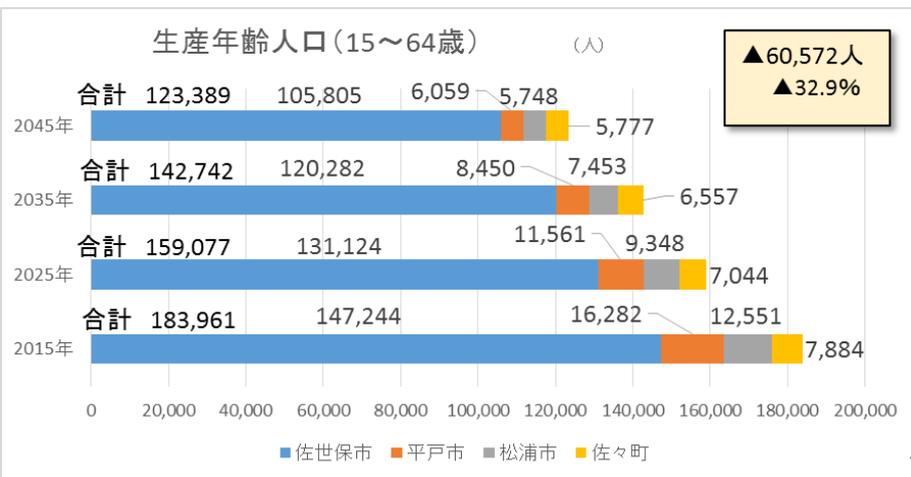
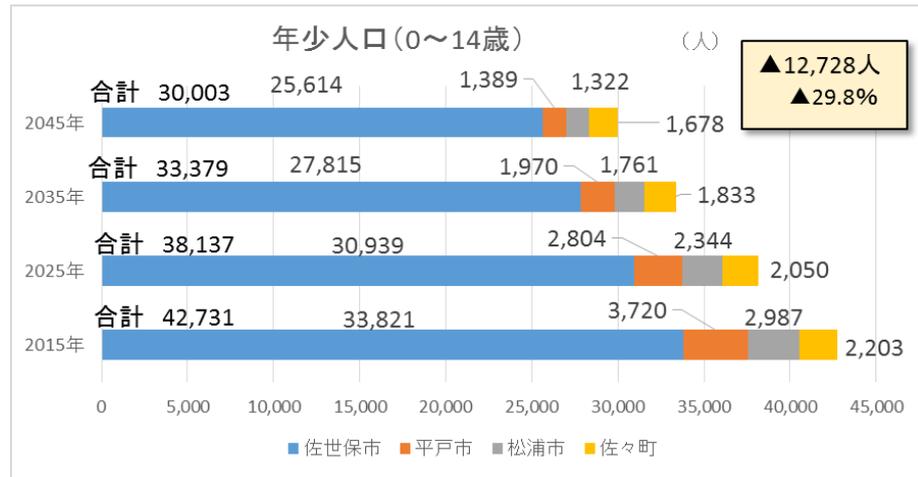
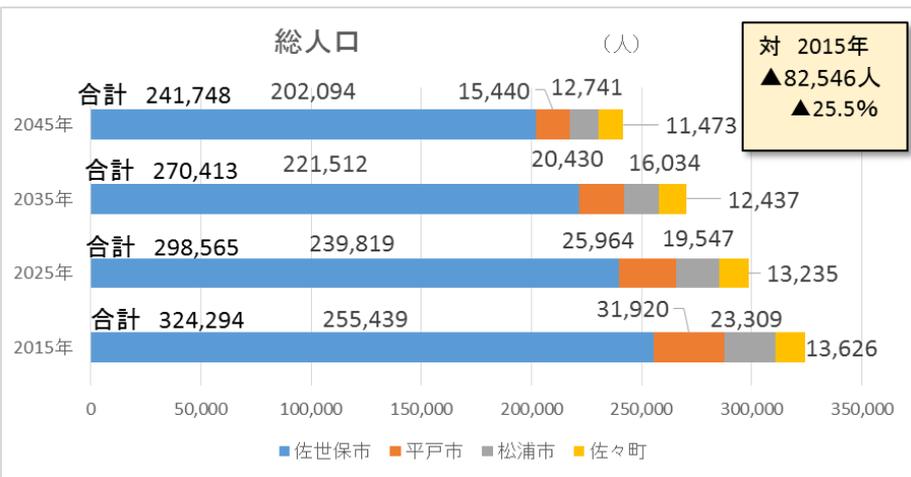
医療の提供は、医療法の理念に基づき、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制が確保されなければならない、それは、行政区域にとらわれないことを前提としていることを踏まえ、単に佐世保市のみの利益にとらわれず、二次医療圏をベースとした関係市町及び長崎県との連携・調整を行なう中で、医療サービスを提供している地域全体を見据えた位置付けについて検討する必要がある。

これらを踏まえ、このビジョンは、北松中央病院に対し求める役割を明確にすると同時に、北松中央病院における次期中期目標策定にあたっての基本的な考え方を示すものである。

1 佐世保県北医療圏の現状

(1) 佐世保県北医療圏の人口動態(2015年～2045年の推移)

佐世保県北医療圏の人口の推移は、以下のとおり、総人口は2045年には、2015年の324,294人から241,748人へ約8万3千人(25.5%)減少、また、年少人口は、29.8%、生産年齢人口は32.9%それぞれ減少すると見込まれている。一方で65歳以上の高齢者人口は9.5%の減少にとどまり、高齢化率は36.5%となり、当該地域の人口構成は深刻な事態となることが予想される。

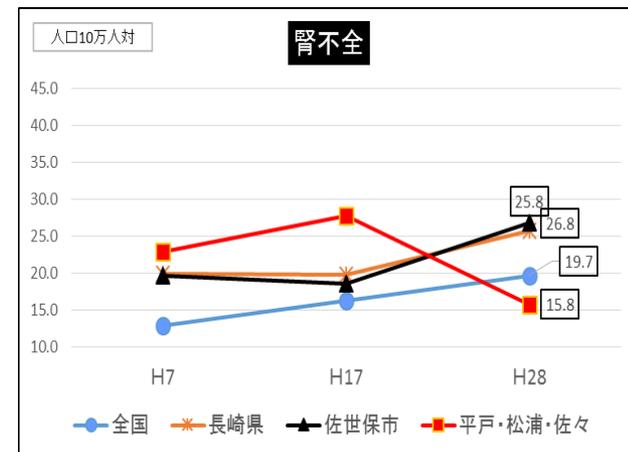
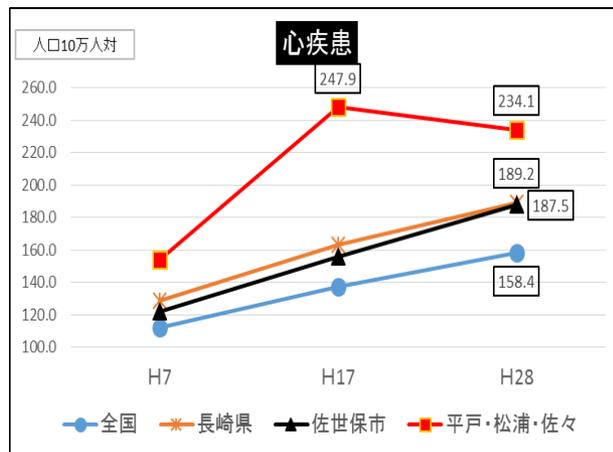
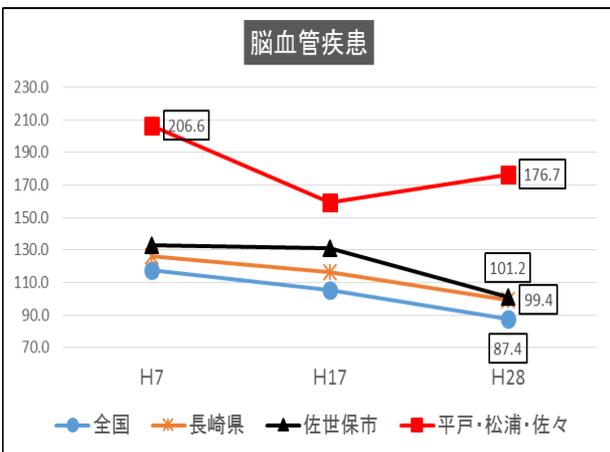
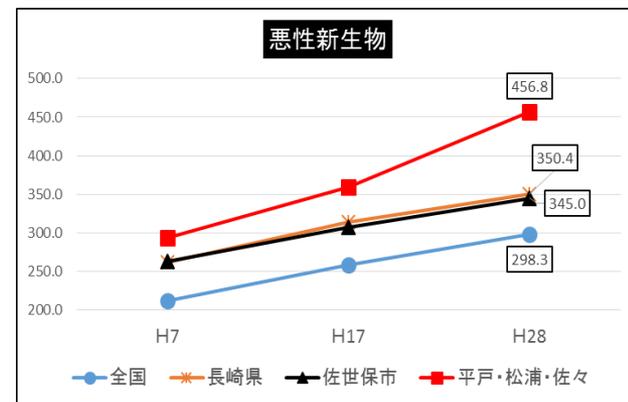


(2) 佐世保県北医療圏の状況(死亡率)

佐世保県北医療圏（佐世保市、県北（平戸市・松浦市・佐々町））の全年齢を対象とした主要疾患別の死亡率（人口10万人対）は、全般的に全国平均より高い。これは、当該地域の高齢者人口の割合が高く、また生活習慣病等の予防に対する住民意識の程度も影響していると考えられるが、緊急措置を要する疾患を受け入れる医療機関が少ない等、医療体制がせい弱であることが起因していることも否定できない。

■ 主な特定死因の死亡率(H28年) 【衛生統計年報(長崎県)から】

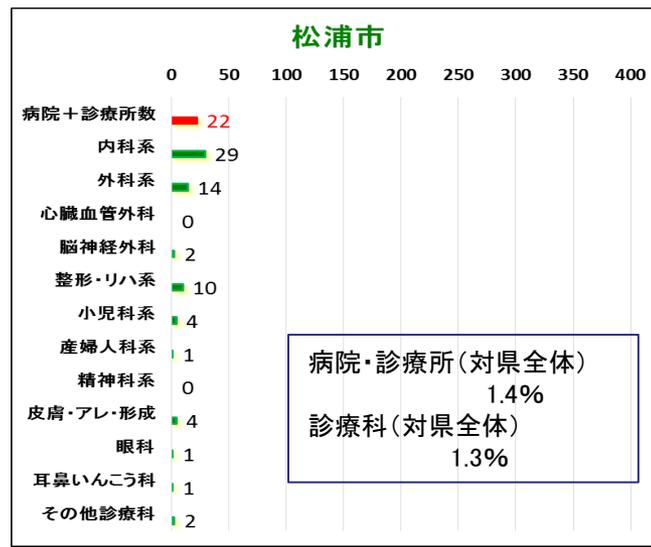
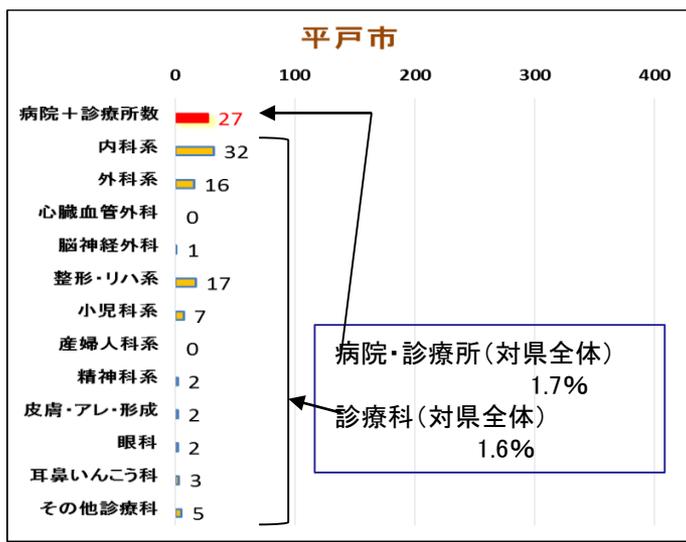
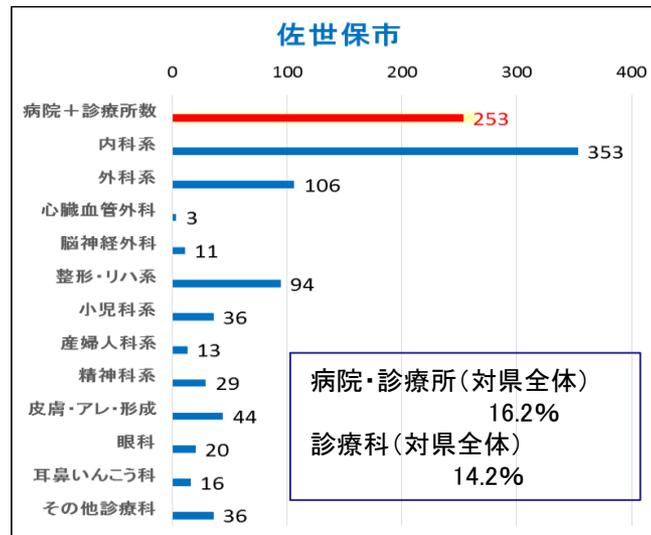
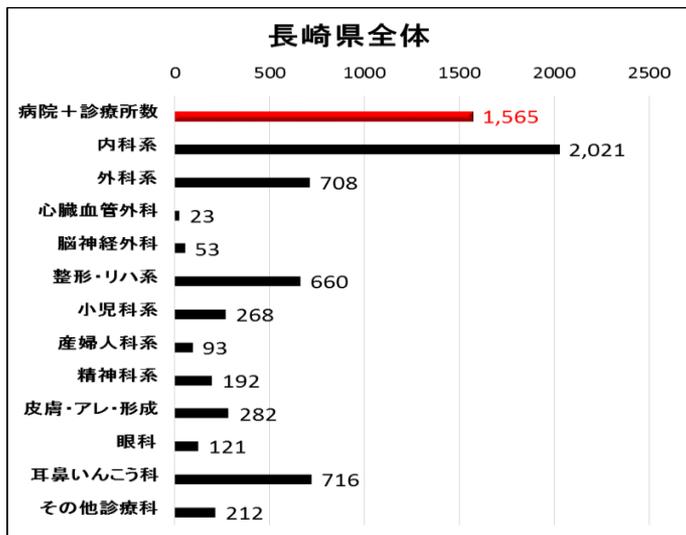
	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		腎不全	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
全国	372,986	298.3	198,006	158.4	109,320	87.4	24,612	19.7
長崎県	4,759	350.4	2,570	189.2	1,350	99.4	350	25.8
佐世保市	876	345.0	476	187.5	257	101.2	68	26.8
平戸・松浦・佐々	318	456.8	163	234.1	123	176.7	11	15.8



(3) 佐世保県北医療圏の病院及び診療所の状況

佐世保県北医療圏の病院及び診療所の状況は、以下（グラフ）のとおり。佐世保市においては、開業医の高齢化や跡継ぎ不在等により、入院病床を有する診療所から無床の診療所への変更や閉院などが増えており、また診療科の偏在等も進んでいる。特に下記グラフの平戸市・松浦市の内容のとおり、病院・診療所の数、診療科の数が非常に少ないことがわかる。

■ 病院数・診療所数・標ぼう科調べ（平成26年 長崎県医療施設調査のデータより）



(4) 佐世保県北医療圏の医師数

平成28年12月末現在の佐世保市の医師数は 662人で、人口10万人当たりの医師数は 260.7人となっている。これは長崎県全域（308.6人）、長崎医療圏（412.9人）、県央圏域（312.6人）と比較しても少ない状況となっている。また佐世保県北医療圏を構成する佐世保市以外（平戸・松浦・佐々）の医師数は90人、人口10万人当たり132.5人となっており、全県域と比較して最も少ない地域となっている。

【長崎県内の医師数】

平成28年「長崎県医療統計」から（単位：人）

医療圏名称	2016年医師数	人口10万人当り	長崎県との差(10万人当)
長崎県全域	4,218	308.6	0.0
佐世保県北医療圏	752	233.6	▲75.0
【佐世保市】	662	260.7	▲47.9
【県北地域】	90	132.5	▲176.1
（平戸市）	50	159.8	▲148.8
（松浦市）	24	104.3	▲204.3
（佐々町）	16	117.3	▲191.3
長崎医療圏	2,177	412.9	104.3
県央医療圏	836	312.6	4.0
県南医療圏	253	188.7	▲119.9
五島医療圏	73	199.4	▲109.2
対馬医療圏	51	165.5	▲143.1
上五島医療圏	31	142.3	▲166.3
壱岐医療圏	45	168.9	▲139.7

(5) 県内医師の年齢階層(医療圏別)の構成比

本県の医師総数における年齢階層(医療圏別)の構成比は以下のとおり。
60歳以上の医師の構成比が県北地域で51.1%となっており、県内で一番医師の高齢化が進んでいる。
これにより特に県北地域の医師の高齢化が顕著であることが見て取れる。

【2016年(平成28年)医療圏域別・年齢別医師数】

(人)

	総数	24～ 29歳	%	30～ 39歳	%	40～ 49歳	%	50～ 59歳	%	60～ 69歳	%	70～ 79歳	%	80歳 以上	%	(再掲) 60歳以上 構成比
長崎県	4,218	275	6.8	726	17.7	853	20.5	954	23.5	871	19.1	371	8.6	168	3.8	33.4%
佐世保県北	752	34	6.5	121	13.2	131	20.1	167	22.9	191	24.6	79	9.2	29	3.6	39.8%
(佐世保)	662	33	7.4	117	14.5	116	20.2	143	22.7	162	22.8	64	8.9	27	3.5	38.2%
(県北)	90	1	0.0	4	3.3	15	18.9	24	24.4	29	37.8	15	11.1	2	4.4	51.1%
長崎	2,177	160	6.7	387	20.0	460	20.2	496	23.7	405	17.1	191	9.0	78	3.3	31.0%
(長崎市)	1,993	160	7.2	378	21.5	428	20.3	444	22.9	348	15.9	169	8.9	66	3.3	29.3%
(西彼)	184	0	0.6	9	2.9	32	18.9	52	32.6	57	30.9	22	10.3	12	4.0	49.5%
県央	836	73	8.8	128	16.4	181	22.6	184	22.5	167	18.5	67	7.8	36	3.3	32.3%
県南	253	2	0.4	23	9.5	52	21.0	64	25.9	68	24.3	26	9.5	18	9.5	44.3%
五島	73	2	7.6	23	21.5	9	13.9	15	29.1	19	20.3	3	2.5	2	5.1	32.9%
対馬	51	2	11.1	20	27.8	5	13.0	14	31.5	9	11.1	0	1.9	1	3.7	19.6%
上五島	31	2	18.2	14	42.4	6	9.1	4	12.1	4	15.2	1	0.0	0	3.0	16.1%
壱岐	45	0	0.0	10	14.3	9	31.0	10	16.7	8	19.0	4	16.7	4	2.4	35.6%

2 北松中央病院の現状

(1) 患者数の状況

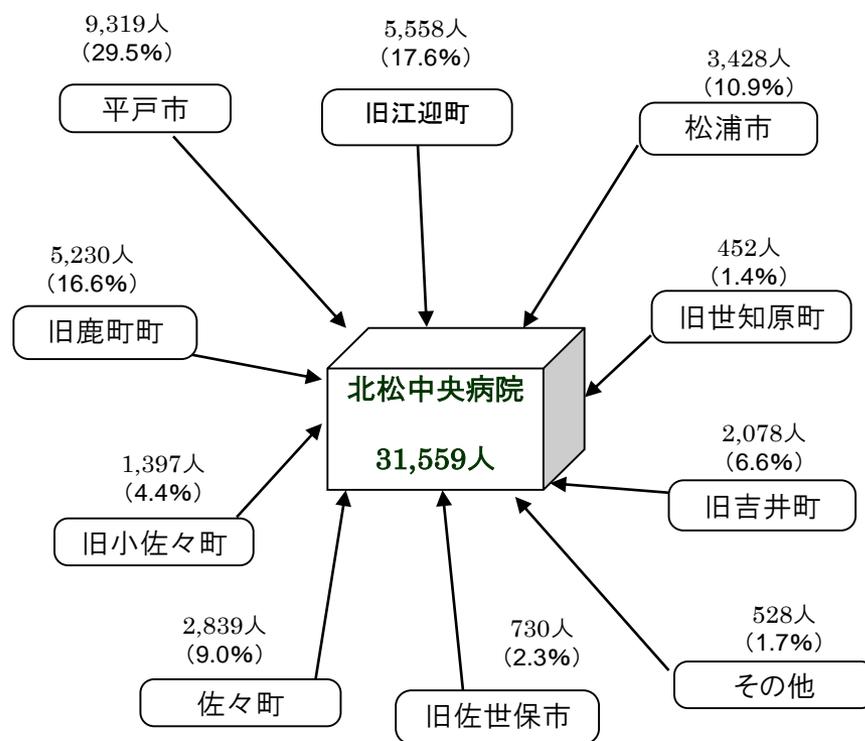
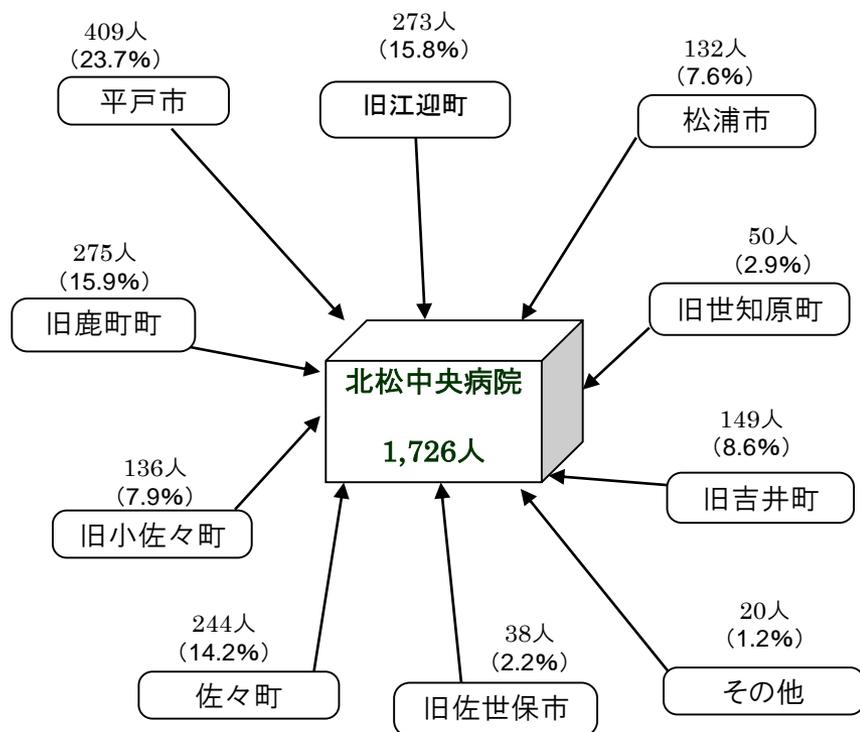
北松中央病院の患者数の状況を地域別で見ると、入院は全体の1.2%、外来は全体の1.7%が佐世保県北医療圏外となっており、ほとんどの患者が医療圏内で占められる。また、旧佐世保市の患者の割合も低く、入院、外来ともに2%程度であることから、訪れる患者のほとんどは旧佐世保市から北の地域から来院していることが見て取れる。

入院

佐世保県北医療圏	1,706人 (98.8%)
その他圏域外	20人 (1.2%)

外来

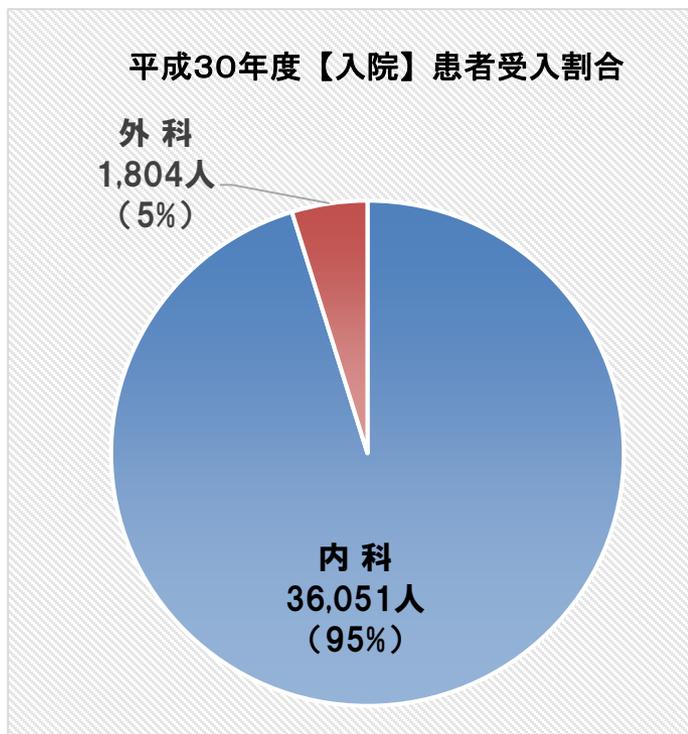
佐世保県北医療圏	31,031人 (87.9%)
その他圏域外	528人 (1.7%)



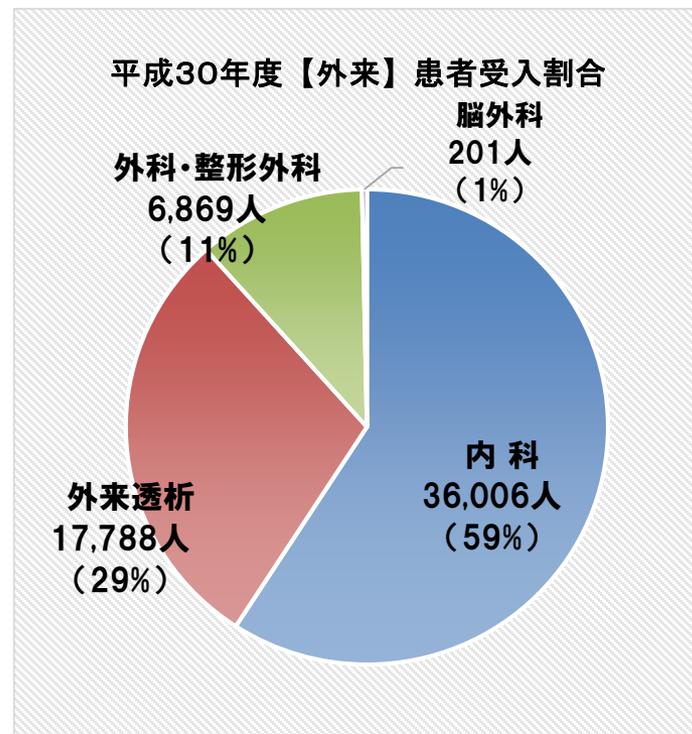
※ 患者数は実数による（H30年度実績から）

(2) 診療科別受け入れ状況

北松中央病院における患者受入の診療科別の割合は以下のとおりで、入院では内科が95%を占めており、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科系の急性期の患者を中心に受け入れている。また、外来においても59%が内科、29%が外来透析の患者と、9割近くを内科系の患者が占めている。(2018年(平成30年)度北松中央病院調べ)



合計 37,855人



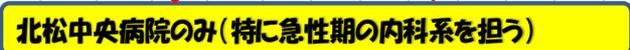
合計 60,864人

※ 患者数は延数

(3) 佐世保北部地域等における病院の状況

佐世保市北部（世知原・吉井・小佐々・江迎・鹿町）・平戸・松浦・佐々地域（以下「佐世保北部地域等」という）の病院が標榜する診療科目は以下のとおりであり、北松中央病院は佐世保北部地域等の病院にはない診療（主に急性期の内科系）を担っており、このことから地域の一般診療を支えていることがわかる。（上段の表は県北保健所管内、下段の表は佐世保保健所管内）

■県北地域の病院標榜科一覧(令和元年8月末現在)

病院名 (県北保健所管内)	「長崎県の医療機関一覧」ほかより																																		
	内科	呼吸器	呼吸内	消化器	消化内	消化外	循環器	循環内	糖尿内	内分泌内	代謝内	腎臓内	胃腸科	小児科	精神科	神経内	心療内	外科	整形外科	脳神経外	小児外科	眼科	耳鼻咽喉	皮膚科	泌尿器科	リハビリ	放射線	麻酔科	歯科	肛門科	肛門外科	透折内科	救急科		
生月病院	●												●					●	●							●									
平戸愛恵病院														●		●																			
北川病院	●						●					●	●					●	●	●						●	●			●					
青洲会病院	●											●						●	●	●					●	●	●								
谷川病院	●	●		●			●						●											●		●									
柿添病院	●							●					●					●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●					
平戸市民病院	●												●					●	●				●				●	●							●
明星会病院																																			
田中病院	●							●										●	●	●				●		●									
菊地病院	●	●		●														●	●	●			●	●	●	●	●								
武部病院	●																	●	●	●						●									
佐々病院														●	●	●																			
【仮称】松浦中央病院	●		●			●		●										●	●					●	●	●	●	●					●	●	
※【仮称】松浦中央病院の診療科は構想時の資料から																																			
潜竜徳田病院	●						●						●					●	●					●		●									
北松中央病院	●		●	●			●	●	●	●	●					●		●	●	●						●	●								
<div style="text-align: center;">  </div>																																			
<div style="text-align: center;">  </div>																																			

(4) 佐世保北部地域等の主な病院の病床

佐世保北部地域等の主な病院の病床の状況は、慢性期病床48%、回復期病床6%、急性期病床42%を占め、ICU等の高度急性期病床は0%という状況である。北松中央病院は、佐世保北部地域等における急性期病床の33%（434床中142床）を占めており、主に内科系の急性期医療が必要な入院患者を中心に受入れている。また、平成27年度から「地域包括ケア病床」15床を設置し、入院してリハビリ等の治療を行う必要がある患者に対し、在宅復帰に向けての支援を行っている。

2017年(平成29年)7月1日現在

【一般及び療養病床】	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	合計
青洲会病院(平戸)		50	24	109		183
柿添病院(平戸)		52		59		111
平戸市民病院(平戸)		58		42		100
生月病院(平戸)		60				60
谷川病院(平戸)				54		54
北川病院(平戸)		52				52
菊地病院(松浦)			40	53		93
田中病院(松浦)				90		90
武部病院(松浦)				50		50
潜竜徳田病院(江迎)		20		40		60
北松中央病院(江迎)		142			45	187
合計	0	434	64	497	45	1040
		42%	6%	48%	4%	100%

6年後(2023年(令和5年))の病床数(各病院からの報告数)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	介護保険施設等	合計
	50	24	109			183
	52	59				111
	58		42			100
	60					60
			54			54
	52					52
		40		53		93
			40		50	90
					50	50
	20		40			60
	187					187
0	479	123	285	53	100	1040
	46%	12%	27%	5%	10%	100%

県への報告病床

3 北松中央病院が担う一般診療

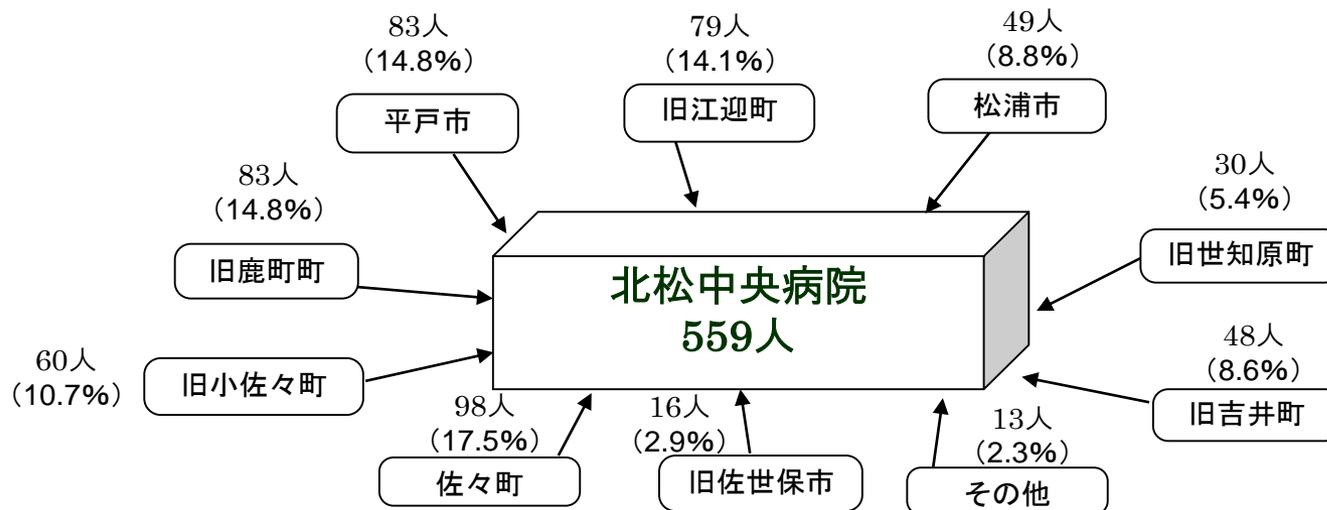
- 一般診療においては、北松中央病院から15分圏内における病院は少なく、急性期の内科系の診療科等を中心に、北松中央病院がこれを担っていることがわかる。
- 北松中央病院は、佐世保北部地域等より、外来入院を合わせ(実患者数)3万3千人を超える外来患者を受け入れている。(延患者数では約9万9千人)
佐世保北部地域等の他の病院・診療所の状況からも、北松中央病院は今後も佐世保北部地域等の中心となって安定的に医療を供給する必要があると思われる。
- 北松中央病院には、佐世保北部地域等における他の医療機関が機能として保有していない科目が多数あり、それぞれの診療科において、佐世保北部地域等の医療機関と連携し、高度専門医療の提供を行っている。
- 佐世保北部地域等における急性期病床の約3分の1を保有し、入院治療を行っている。長崎県地域医療構想の実現に向けた取り組みにより、佐世保北部地域等の実情に応じた病床を確保する必要がある。

4 北松中央病院が担う救急医療

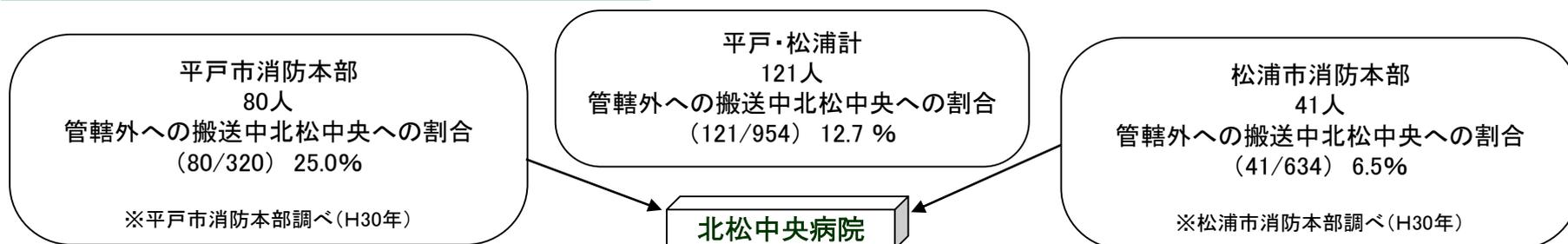
(1) 患者数の状況

北松中央病院の平成30年度における救急患者の受け入れ人数は2,700人で、このうち559人(21%)が救急車による救急搬送患者となっている。地域別では、その大半が平戸市、松浦市及び旧佐世保市以北の患者であり、旧佐世保市の患者数はわずか3%程度となっている。

市町別内訳



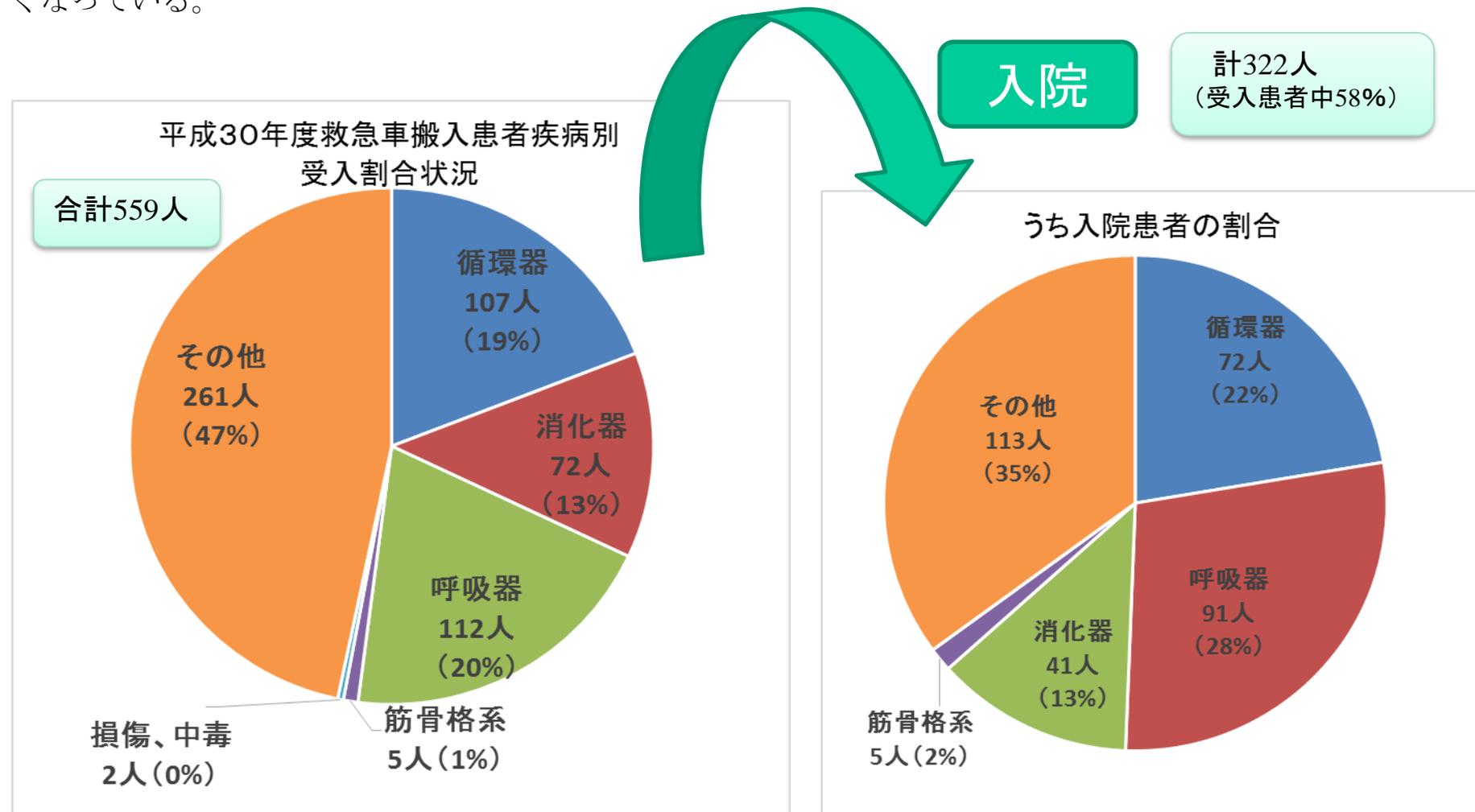
平戸・松浦消防本部からの搬送状況



(2) 疾患別及び入院患者の割合

北松中央病院への救急搬送患者の受入状況（H30年度実績）をみると、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科を中心とした内科系急性期患者等559人を受入れ、うち322人（58%）が入院となっている。

こうした状況下、潜竜徳田循環器科内科整形外科病院が平成28年9月末で救急告示を取り下げた事により、近隣において救急医療を担う病院は北松中央病院のみとなり、救急患者を受け入れる医療機関としての役割は重くなっている。



(3) 北松中央病院が担う救急医療について

- 佐世保北部地域等全体を見た時、救急医療の拠点として北松中央病院が効果的に機能していることがわかり、また、佐世保北部地域等の診療機能の縮小状況等を考慮すると、今後さらにその責務が増すことが見込まれる。
- 北松中央病院への救急搬送状況を見ると、旧佐世保市内における二次輪番病院への佐世保北部地域等からの患者流入を、北松中央病院が一定調整しており、そのことが旧佐世保市内の二次輪番病院の負担軽減につながっている。
- 救急医療の提供は、公立病院としての責務であることから、北松中央病院は、佐世保北部地域等の中核として救急医療をこれまでどおり担う必要がある。

5 5疾病5事業及び在宅医療の状況

医療法に定める5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)、5事業(救急医療、災害時における医療、へき地医療、周産期医療、小児救急医療を含む小児医療)及び在宅医療を実施する、佐世保北部地域等の医療機関(病院)は次のとおり。

◇ 5疾病

(1) がん

診療実績がある医療機関(「病床機能報告制度 H29.7.1」より)

- ・北松中央病院(悪性腫瘍手術、病理診断、化学療法)
- ・平戸市民病院(病理診断、化学療法、抗悪性腫瘍剤局所持続注入)
- ・平戸市生月病院(化学療法)
- ・青洲会病院(悪性腫瘍手術、病理診断、化学療法)
- ・柿添病院(病理診断、化学療法)

(2) 脳卒中

施設基準の届け出がある医療機関(「九州厚生局 届出受理医療機関名簿 令和元.10.15更新」より)

- ・北松中央病院(救急告示・脳神経外科・脳血管疾患リハ届出病院)
- ・平戸市民病院(救急告示・脳血管疾患リハ届出病院)
- ・平戸市立生月病院(脳血管疾患リハ届出病院)
- ・青洲会病院(救急告示・脳神経外科・脳血管疾患リハ届出病院)
- ・柿添病院(救急告示、脳血管疾患リハ届出病院)
- ・谷川病院(脳血管疾患リハ届出病院)
- ・北川病院(脳血管疾患リハ届出病院)
- ・田中病院(脳神経外科)
- ・武部病院(脳神経外科・脳血管疾患リハ届出病院)
- ・潜竜徳田病院(脳血管疾患リハ届出病院)

(3) 急性心筋梗塞

施設基準の届け出がある医療機関(「九州厚生局 届出受理医療機関名簿 令和元.10.15更新」ほかより)

- ・**北松中央病院(経皮的冠動脈形成術・心大血管疾患)の基準届出病院、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術基準届出病院)**
- ・青洲会病院(ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術届出病院)
- ・潜竜徳田病院(ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術届出病院)

(4) 糖尿病

施設基準等の届け出がある医療機関(「九州厚生局 届出受理医療機関名簿 令和元.10.15更新」ほかより)

- ・**北松中央病院(人工透析実施医療機、糖尿病合併症管理料届出病院)**
- ・青洲会病院(人工透析実施医療機関)
- ・柿添病院(人工透析実施医療機関)
- ・平戸市民病院(人工透析実施医療機関)

(5) 精神疾患

精神病床を持つ病院(「九州厚生局 届出受理医療機関名簿 令和元.10.15更新」より)

- ・平戸愛恵病院
- ・佐々病院

H30年度
北松中央病院
がん治療実績

	化学療法	手術目的 紹介	内視鏡的 切除	緩和医療	治療希望 なし	合計
肺	6	3		5		14
大腸	1	13	2	2		18
膵	1	1		4		6
胆のう				1		1
胆管	1					1
胃		5		3		8
脳						0
リンパ				2		2
膀胱						0
肝				2		2
食道	1	2		1		4
気管支				3		3
腎		1				1
乳		1				1
皮膚				1		1
不明		1				1
合計	10	27	2	24	0	63

H31年
北松中央病院
主要疾患地域
別延べ患者数

糖尿病	R元. 6, 7, 8月延人数		循環器	R元. 6, 7, 8月延人数		透析	H31. 3現在実人数	
江迎町	45	11.4%	江迎町	321	13.7%	江迎町	19	14.5%
鹿町町	42	10.7%	鹿町町	308	13.2%	鹿町町	15	11.5%
佐々町	38	9.6%	佐々町	197	8.4%	佐々町	9	6.9%
小佐々町	30	7.6%	小佐々町	86	3.7%	小佐々町	12	9.2%
吉井町	20	5.1%	吉井町	114	4.9%	吉井町	14	10.7%
世知原町	5	1.3%	世知原町	42	1.8%	世知原町	6	4.6%
田平町	45	11.4%	田平町	327	14.0%	田平町	12	9.2%
生月町	15	3.8%	生月町	142	6.1%	生月町	7	5.3%
大島村	7	1.8%	大島村	14	0.6%	大島村	0	0.0%
松浦市	55	14.0%	松浦市	189	8.1%	松浦市	25	19.1%
佐世保市	15	3.8%	佐世保市	101	4.3%	佐世保市	4	3.1%
平戸市	74	18.8%	平戸市	462	19.8%	平戸市	8	6.1%
その他	3	0.8%	その他	32	1.4%	その他	0	0.0%
延計	394	100.0%	延計	2,335	100.0%	実計	131	100.0%

◇ 5事業及び在宅医療

(1) 救急医療

救急告示病院は次のとおり

・**北松中央病院**、平戸市民病院、青洲会病院、柿添病院

(2) 災害時における医療

災害拠点病院(DMAT配備)は次のとおり

・**北松中央病院**

(3) へき地の医療

・国保度島診療所、国保大島診療所、国保大島診療所の山出張所、国保松浦市立鷹島診療所、国保松浦市立福島診療所、松浦市立青島診療所

(4) 周産期医療

なし(佐世保市総合医療センター等)

(5) 小児(救急含む)医療

なし(佐世保市総合医療センター等)

● 在宅医療

・在宅療養支援病院(青洲会病院)

※地域包括ケア病棟入院料(**北松中央病院**)

【北松中央病院の5疾病5事業及び在宅医療への取り組み】

北松中央病院は、5疾病中、精神疾患を除く4疾病に対応している。

特に急性心筋梗塞に対応できる医療機関(経皮的冠動脈形成術実施病院)は、佐世保北部地域等においては唯一である。

また、「がん」について、佐世保県北医療圏内では、佐世保市総合医療センター等が、がん診療の拠点病院として存在するが、圏域内すべてのがん患者をそうした病院で対応することは不可能であることから、北松中央病院でも、一定のがん治療の実績があり、今後も拠点病院と役割分担しながら取り組んでいく必要がある。

5事業及び在宅医療については、救急、災害、在宅医療の3事業に対応しており、災害拠点病院としては、急性心筋梗塞への対応と同様に佐世保北部地域等唯一の病院として機能している。

また、在宅医療についても訪問看護ステーションを有し、地域包括ケア病床を有する等、地域の中心的役割を果たしている。

6 佐世保市の地方独立行政法人病院の概況

(1) 北松中央病院と佐世保市総合医療センターの概況(平成30年度末時点)

北松中央病院		佐世保市総合医療センター
【診療科数:13】 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、外科、整形外科、内分泌内科、神経内科、脳神経外科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、放射線科、リハビリテーション科	標榜診療科目	【診療科数:31】 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科、麻酔科、リハビリテーション科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、救急集中治療科、病理診断科、臨床検査科
189床(内、一般187床(地域包括ケア病床15床含む)・感染症病床2床)	病床数	医療センター(本院) 594床(一般570、感染症4、結核20) ※宇久 17床(一般11、療養6)
血液浄化センター(50床)、救急告示病院、訪問看護ステーション、エイズ地域協力病院、地域災害拠点病院、第2種感染症指定、長崎DMAT指定病院、災害救命用ヘリポート設置	特色	救命救急センター、臨床研修指定病院、救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、高次脳卒中センター、災害拠点病院(長崎DMAT指定) エイズ治療拠点病院、各学会認定研修病院
入院 37,855人/365日(104人/日) 外来 60,864人/244日(249人/日)	患者数(延べ)	入院 177,772人/365日(487人/日)(診療所含む) 外来 204,006人/244日(836人/日)(診療所含む)
72.0%	病床利用率	79.7%
19.3日	平均在院日数	12.0日(本院のみ)
10対1	看護師配置	7対1

(2) 佐世保市総合医療センターと北松中央病院の中期目標比較(提供する医療サービス)

佐世保市総合医療センター	北松中央病院
<p>【第2期中期目標】</p> <p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 地域完結型医療の推進2 提供する医療サービスの充実<ol style="list-style-type: none">(1) 救急医療(2) がん医療(3) 小児・周産期医療(4) 高度専門医療(5) 政策医療3 医療人育成体制の充実<ol style="list-style-type: none">(1) 医師の研修制度の充実(2) 看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者の育成の充実4 医学研究の推進5 医療の質の向上<ol style="list-style-type: none">(1) 施設、設備の充実(2) 医療従事者の確保(3) 患者サービスの向上(4) 安全性の高い信頼される医療6 情報提供の充実<ol style="list-style-type: none">(1) 分かりやすい保健・医療の情報発信(2) 病院情報の公開	<p>【第5期中期目標】</p> <p>第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <ol style="list-style-type: none">1 地域で担うべき医療の提供<ol style="list-style-type: none">(1) 地域の実情に応じた医療の提供(2) 高度・専門医療(3) 救急医療(4) 生活習慣病(予防)への対応(5) 感染症医療・災害対策(6) 在宅への復帰支援(7) 介護保険サービス2 医療水準の向上<ol style="list-style-type: none">(1) 医療スタッフの人材確保(2) 医療スタッフの専門性及び医療技術の向上(3) 医療人材の育成(4) 臨床研究の推進・医療の質の向上3 患者サービスの向上<ol style="list-style-type: none">(1) 待ち時間の改善(2) 院内環境の快適性向上(3) 患者満足度の向上・インフォームドコンセントの徹底(4) 職員の接遇向上(5) 医療安全対策の実施4 地域医療機関等との連携<ol style="list-style-type: none">(1) 地域医療機関との連携(2) 地域医療への貢献5 市の施策推進における役割<ol style="list-style-type: none">(1) 市の保健・医療・福祉行政との連携

7 北松中央病院の地方独立行政法人病院としての役割

北松中央病院が、「地方独立行政法人」である理由は、住民の生活、地域社会の安定等の公共上の見地から、その地域において確実に実施される必要がある医療であり（「医療の安定供給」）、民間に委ねた場合には必ずしも実施されない恐れがある医療（「不採算部門の医療の提供」）を、効率的にかつ効果的に提供しており、且つそれが地域に求められているか、ということにある。北松中央病院は、一般診療で地理的な医療の空白を埋め、救急では、佐世保北部地域等の患者受入れにより、結果として旧佐世保市内における救急病院群への医療供給調整を行っており、佐世保北部地域等において安定的にその機能を発揮する必要性が十分に認められる。



【佐世保市総合医療センターとの関係】

●佐世保市総合医療センター(以下「総合医療センター」という。)の理念は、「地域の基幹病院として、高度な医療を総合的に提供するとともに、明日を担う医療人を育成する」である。

総合医療センターは、高度医療という「特殊性(専門性)」と、不足する診療科領域の最後の受け皿としての高い「安定性」を実現している佐世保県北地域における最大の基幹病院である。また、平成24年4月から「救命救急センター」が設置され、高度医療の提供はもちろんのこと、救急医療、研修施設としての医療人育成、臨床研修センターによる地域医療のレベル向上が期待され、地域へ果たす役割はますます大きくなることが予測される。

一方で、北松中央病院は、佐世保市北部地域において安定的に地域医療を提供すると同時に、総合医療センターが中核をなす旧佐世保市内救急病院群への医療供給調整を実態として行っており、救急医療における役割分担は、佐世保・県北圏域全体を考えた場合、既に適当なバランスの上に成立していると思われる。

したがって、今後とも、同じ佐世保市が設置者である公立病院として、現在の役割分担を維持しつつも、従来からの連携体制をより深化させた関係の中で、効率的・効果的な医療提供や実務上の協力を、協力可能な分野において積極的に推進していく必要がある。

【北松中央病院の地方独立行政法人としての役割】

①地域の实情に応じた医療の提供

- ・高度専門医療(5疾病5事業への対応)、在宅への復帰支援、介護保険サービスの提供など、今後の医療需要(患者の動向)に柔軟に対応できる体制を整備する

②佐世保市北部及び県北地域における救急医療の安定供給

- ・高機能病院の集中する地域(旧佐世保市内救急病院群)への救急患者の供給調整を担う

③政策医療

- ・感染症医療や災害拠点病院としての機能強化をはかる

④生活習慣病(予防)への対応

⑤経営基盤の確立と財務体質の強化

⑥医療人材の確保

8 北松中央病院の診療の方向性

【地域医療】

地域の中核病院としての北松中央病院は、地域に求められる医療を提供しなければならない。少子高齢化に伴い、今後、高齢者の患者数が増加することが予測される中においては、佐世保北部地域等に存在する病院・診療所・介護福祉施設並びに救急隊・保健所などの行政機関との連携が不可欠である。

概ね15分圏域にあっては、佐世保北部地域等における病院・診療所・介護福祉施設等(以下「医療機関等」という)との連携の下、役割分担を明確にすることにより、双方が効率よく効果的に地域住民へ医療を提供できるよう努めなければならない。また、一般診療で訪れる30分～1時間圏域からの患者についても同様で、佐世保北部地域等の医療機関等との連携をとりながら、可能な範囲で機能に応じた役割を明確にすべきである。

また、この連携に必要な医療機関等との調整は、病院の社会的責任から、或いは公立病院としての責任から、北松中央病院が主体的に行うことが望ましく、医療機関等の協力を得ながら実施されるべきである。この場合、設置者である佐世保市も可能な限り支援を行っていくこととする。

さらには、より広い範囲での連携も望まれ、総合医療センターをはじめとする高機能病院との意見交換・役割分担を積極的に行い、得意分野における強みを生かした診療を行うべきである。

【5疾病5事業及び在宅医療並びにその他の診療】

5疾病5事業及び在宅医療のうち、現在保有する機能については、引き続き現行機能を維持強化することが望まれる。

また、今後、当該5疾病5事業に限らず、地域、或いは圏域において充足或いは不足する医療が生じた場合は、環境の許す範囲で、機能の見直しを行っていく必要がある。この場合、医師確保や財源の問題、地域の医療機関との関係も踏まえ、設置者である佐世保市を含めた中で、しっかりと検討していく必要がある。

【救急医療】

現在の機能を引き続き維持していくこととする。特に、北松中央病院はその地理的環境から旧佐世保市内救急病院群の機能の収縮に合わせた動きが求められ、可能な範囲で対応していかなければならない。この場合、必要に応じて設置者である佐世保市においても、当該対応に必要な支援を行っていくこととする。

9 北松中央病院の今後の医療提供体制について

(1) 今後の医療需要(患者)予測 I

～ 日本医師会総合政策研究機構「地域の医療提供体制の現状と将来(2014年度版)」に基づく予測 ～

■北松中央病院の患者予測

	2011年		2025年		増減率		全国	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
長崎県(人)	16,936	85,931	19,359	83,784	14%	-2%	27%	5%
佐世保県北医療圏(人)	4,052	20,336	4,466	19,392	10%	-5%		

	2011年		2025年		増減率	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来
北松中央病院(人)	40,125	61,308	44,225	58,462	10%	-5%

※上段の表の患者数は、患者調査に基づき、5疾病並びにICD大分類の入院・外来の年齢構成別受療率に当該医療圏等の年齢構成別人口を乗じて算出されている。また、北松中央病院の患者数については延患者数による。

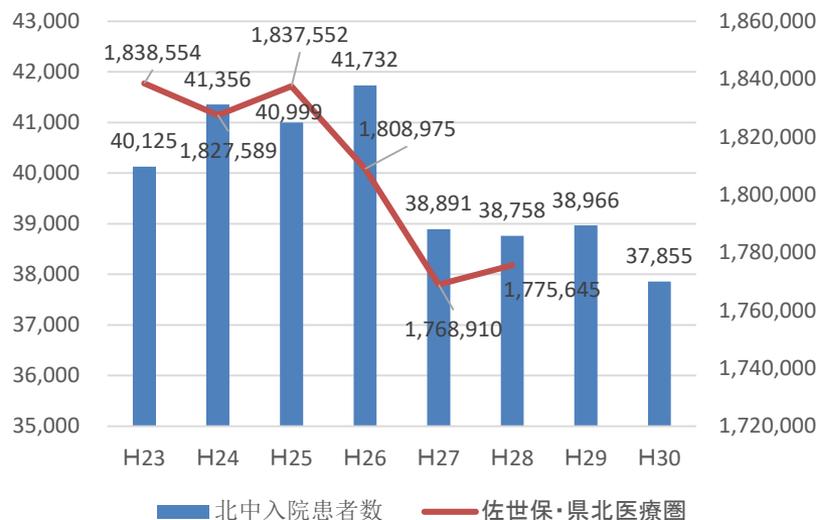
日本医師会総合政策研究機構(以下「機構」という)がまとめた「地域の医療提供体制の現状と将来(2014年度版)」によると、佐世保県北医療圏における2011年対2025年の入院、外来患者の増減率の見込みは、入院患者+10%、外来患者数▲5%と予測されている。

この予測割合をもって北松中央病院の患者数を推計すると、2025年の入院患者数は約4万4千人、外来患者数は約5万8千人と予測される。(参考:北松中央病院のH30年度入院患者延数 37,855人、外来患者延数60,864人)

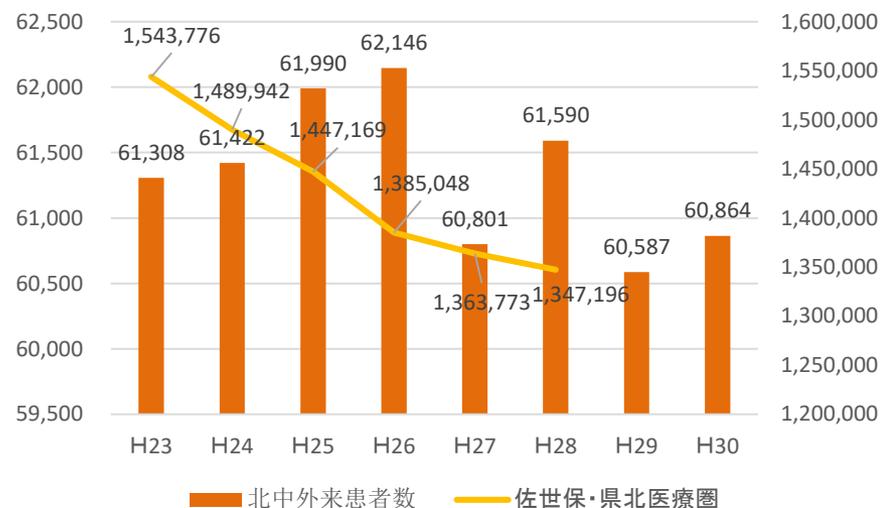
(2) 今後の医療需要(患者)予測 II

～ 北松中央病院の患者実績に基づく予測 ～

入院患者の推移



外来患者の推移



北松中央病院が受け入れた患者数の実績を見てみると、入院、外来ともに減少傾向がみられる。特に平成27年度に比較的大きく減少しているが、これはH26年度にインフルエンザの患者が多かったことなどから、単年に大きく減少したように見えるものである。この動きについて、前ページ(2011年(H26年)対2025年)と比較すると、外来は同様に減少傾向がみられるが、入院については増加するという見込みに逆行している。なお、二次医療圏全体の実績(H23～H28年度まで)についても、北松中央病院同様の傾向がみられる。

一方で、医師不足等による周辺医療機関の弱体化が懸念される反面、2020年10月には、松浦市中心部に「JCHO松浦中央病院(仮称)」が開院予定となっている。これにより北松中央病院の内科や人工透析部門における患者数にも、若干影響を及ぼす(減少する)ものと思われる。

なお、入院について、機構の予測(推計)では2011年から2025年にかけて、佐世保県北地域では10%ほど増加することが見込まれていることから、現時点では減少傾向に見えるが、2025年に向けて今後増加することも予想される。

(3) 今後の医療提供体制

	患者数の増加(↑)	患者数の減少(↓)
需要の動き	<ul style="list-style-type: none"> ●入院患者(※) ●在宅医療患者 	<ul style="list-style-type: none"> ●外来患者(※)
供給の動き	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺医療機関の衰退・廃止(医師不足等) ●慢性疾患(人工透析等)の患者の増 	<ul style="list-style-type: none"> ●松浦中央病院(仮称)の開院

※……日本医師会総合政策研究機構「地域の医療提供体制の現状と将来(2014年度版より)」
 (佐世保県北医療圏における2011年対2025年の増減率:入院患者数+10%、外来患者数▲5%)



今後増加が見込まれる分野における患者を受け入れる柔軟な体制づくり

周辺を取り巻く医療機関の動向を除けば、外来患者は減少が予測される一方で、入院患者や在宅医療を受ける患者は増加することが見込まれている。

北松中央病院は、こうした患者の増減に対しても、柔軟に対応できる体制を整備する必要がある。

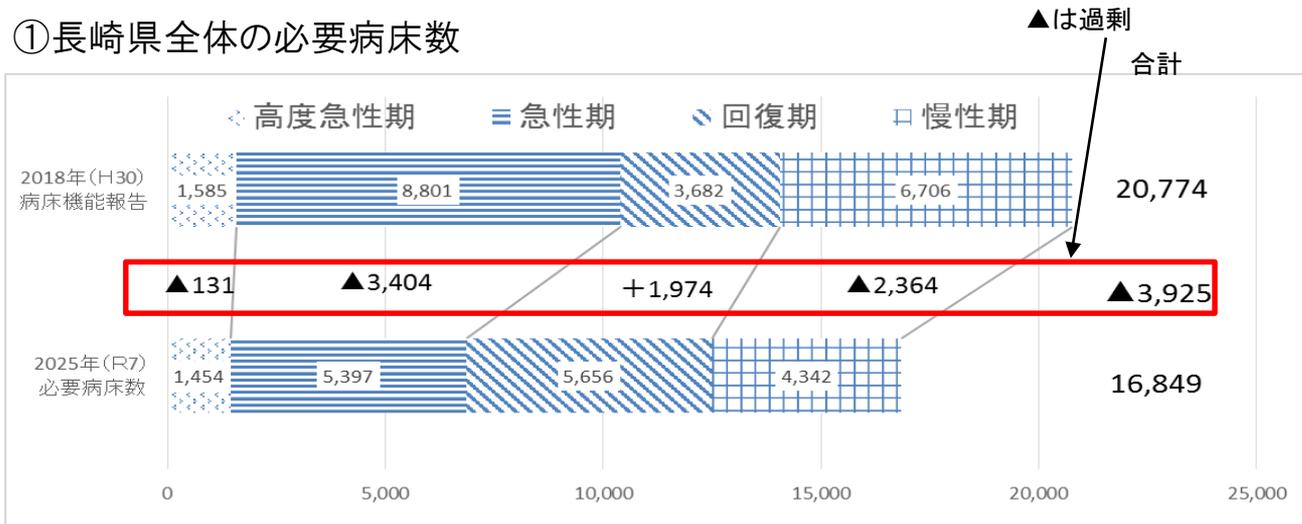
10 地域医療構想の実現に向けた取り組みについて

【地域医療構想への取組】

北松中央病院は、許可病床が189床あるが、このうち稼働している病床は、一般病床142床(うち包括ケア病床15床)、感染症病床2床となっており、45床は休床中である。

病床機能報告では、稼働する一般病床の142床を急性期病床として報告している。休床する病床の取扱いについては、現在進められている「地域医療構想」の実現に向けた協議等を進める中で、地域に必要な北松中央病院の立ち位置などをより明確にしたうえで、その取扱いを検討していく必要がある。

①長崎県全体の必要病床数



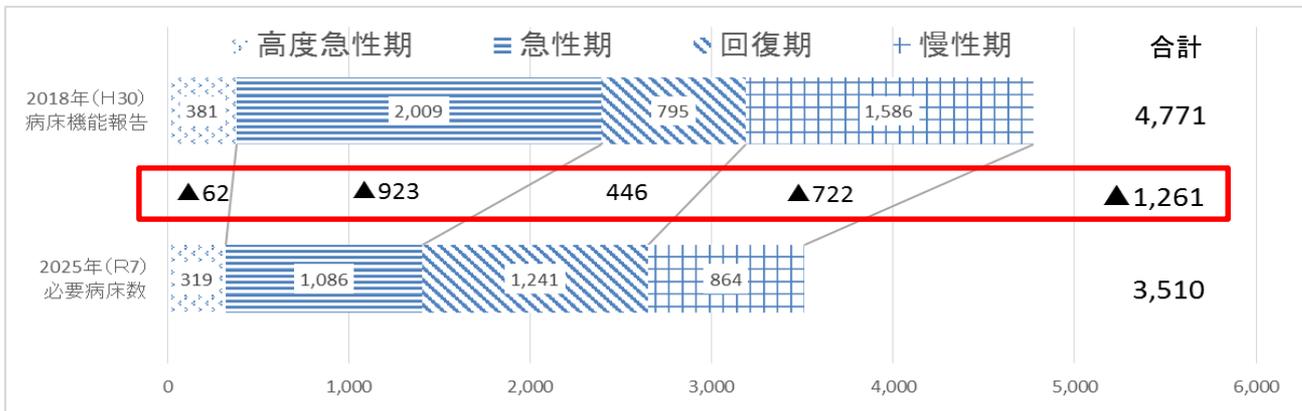
【長崎県の取組状況】

左図は各医療機関が行った病床機能報告に基づく現状の機能別の病床数と、2025年に必要とされる病床数を比較したものである。

上段(①)は長崎県全体における比較。下段(②)は佐世保県北医療圏での比較となっている。当圏域内の2025年の必要病床数と、各医療機関からの報告数の差は次のとおり。

高度急性期	62床	多い
急性期	923床	多い
回復期	446床	不足
慢性期	722床	多い
計	1,261床	多い

②佐世保県北医療圏の必要病床数



現在、こうした状況を踏まえ、医療機関の役割分担の整理を行った上で、地域で確保すべき病床の規模等に関する議論が進められている。